ASICS CONNECTION TOKYO

①隅田川緑道公園内に建設された、ランナーも立ち寄るリバーサイドカフェ

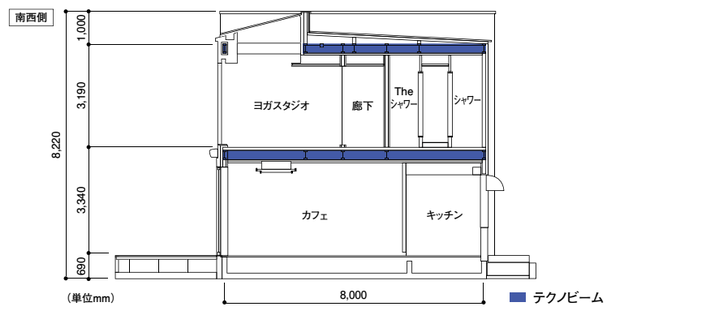
②ボックスカルバート上に建設された木造建築　③④ASICS CONNECTION TOKYO内部からの光とウォールウォッシャーによるライトアップが隅田川の川面に映る

軽量で耐火構造という厳しい条件下選択されたテクノストラクチャー工法

東京都墨田区は2020年のビッグイベントを見据え、墨田区立隅田川緑道公園内にリバーサイドカフェの開設・運営を行う事業者を公募。「水都すみだの再生」に向け、スポーツツーリズムの視点で水辺空間の活性化につながる提案が評価され、アシックスジャパン株式会社が選定された。

建設にあたっては多くの制約があり、その一つが敷地が道路構造物（ボックスカルバート）上であるための軽量化。店舗・設備・店舗基礎の上載荷重は16kN/m²以内とし、店舗の基礎は道路構造物および下部の構造体に影響を与えないこと。さらに耐火建築物であることが求められた。その結果、パナソニックのオリジナル木造軸組工法「テクノストラクチャー」が採用されている。「テクノストラクチャー」は木と鉄の複合梁を採用しているため高い耐震性が特長。また、耐火構造の大臣認定を取得しており、基本設計段階で構造計算も実施している。近年、環境負荷の少ない建築として木造が再評価されており、国も公共建築物の木造化を推進していることから、この工法が採用され、鉄骨造と比較して短工期での施工が実現された。

木と鉄の複合梁「テクノビーム」を用いたテクノストラクチャー工法



※マップ参考:隅田川リバーラン&ウォークマップ（公益財団法人東京都公園協会）http://www.tokyo-park.or.jp/waterbus/runwalk/

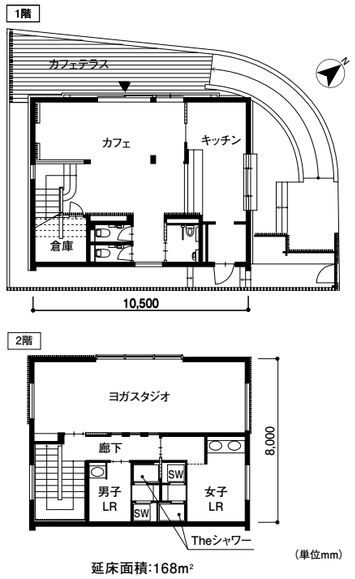
国内外の人たちをサポートする「Theシャワー」をはじめとした設備

ASICS CONNECTION TOKYOのコンセプトは「サスティナブルコミュニティスペース」。「水都すみだの再生」に向け、地域住民や隅田川エリアを訪れる国内外の観光客に向けて、スポーツを軸としたライフスタイルを持続的に提案。絶えず人が行き交うような場所をめざしている。

建物は自然豊かな周辺環境との調和を図り、白を基調に広い開口部が設けられた開放感のあるデザイン。1階には栄養バランスを考えたメニューを豊富に揃えたカフェやインフォメーションスペースを配置。2階はランニングの際に立ち寄れるシャワー施設やヨガスタジオが設けられ、2フロアで運用されている。

2階のヨガスタジオはトップライトから昼光が差し込む明るい空間で、建築化照明とスポットライトによりアクセントのある光空間がつくり出されている。

シャワー施設は男女に分けて設けられており、各ロッカールームに接して、シャワーに加えて「Theシャワー」付シャワーユニットを各1台設置。「Theシャワー」はアーム角度を変化させることで必要な部分の局所浴が可能なため、温冷交替浴を手軽に楽しむことができる。



延床面積:168m²

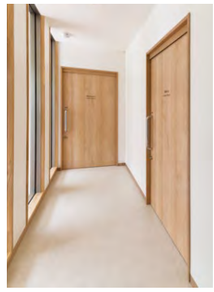
◀（上）2階ヨガスタジオはヨガなどのワークアウトプログラムに用いられている
（下）部分的なスケルトン天井で広がり感を与えている1階のカフェ

ASICS CONNECTION TOKYO

所　在　地／東京都墨田区吾妻橋
事　業　主／アシックスジャパン株式会社
設　　計／株式会社ゆう建築設計事務所
施 工 元 請／パナソニックES建設エンジニアリング株式会社
竣　　工／2017年5月
構 造 形 式／木造耐火構造（テクノストラクチャー工法）

2階の女子ロッカールームにはナノイー搭載ドライヤーやスチーマーを配置

アーム角度を変化させることで局所浴が可能な「Theシャワー」



ロッカールームの木質内装ドア

1階トイレコーナーの木質内装ドアとアラウーノ

主な設備

- 「Theシャワー」付シャワーユニット
- NewアラウーノV
- LED照明器具
- パッケージエアコン
- 換気設備
- 内装建材

詳細はウェブサイトをご参照ください。
アシックスコネクション東京
https://www.asics.com/jp/ja-jp/asics-connection-tokyo/